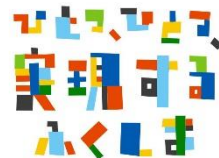


主要な農作物の生育情報

令和7年度 第9号

(令和7年12月12日現在)

福島県農林水産部農業振興課



【土地利用型作物】

1 大豆

収穫は、11月末までに約9割の進捗状況となっています。一部、青立ちによる登熟不良や、鱗翅目害虫による被害粒が多い地域がありますが、収量・品質は平年並の見込みです。

2 小麦

播種は、11月末までに約8割の進捗状況となっています。初期生育は、概ね良好です。

【野菜】

1 秋冬にら

2年株の1番刈りは、10月下旬～11月中旬にかけて行われ、早いところでは、11月中下旬から2番刈りが始まっていますが、夏季の高温の影響により株養成が十分でないほ場では、葉幅が狭い傾向にあります。また、1年株の1番刈りは、平年並の11月中旬～12月上旬にかけて行われています。

病害虫は、一部のほ場でさび病、アブラムシ類、ネダニ類が見られています。

2 いちご

促成栽培の普通育苗では、夏季の高温の影響により花芽分化が遅れたことから、平年より1週間程度遅い12月上旬より頂果房の収穫が始まっています。

病害は、炭疽病が継続して発生しています。害虫は、一部のほ場でハダニ類やコナジラミ類、アブラムシ類が見られています。

【果樹】 (福島県農業総合センター果樹研究所における12月1日現在の生育概況)

1 りんご

(1) 「ふじ」の収穫期と果実品質

「ふじ」の収穫盛期は11月24日で平年より7日遅く、満開後日数は214日で平年より13日長くなりました。果実の大きさは339gで平年よりやや小さく、糖度が15.1° Brixで平年並でした。また、蜜入り指数は2.1でした。

果実硬度は、14.6ポンドで平年より高くなりました。果皮中クロロフィル含量は平年よりやや高く推移し、果皮中アントシアニン含量は平年よりやや低く推移しました。

(2) 花芽分化率

花芽分化率(12月1日採取)は、「つがる」が84.0%、「ふじ」が64.6%でした。また、両品種とも一部の頂芽に褐変が見られました。

2 なし

(1) 花芽分化率

花芽分化率(11月27日採取)は、「幸水」が78.3%、「豊水」が73.5%でした。

【花 き】

1 ストック

年内出荷の作型では、一部で高温による開花時期の遅れが見受けられましたが、10月から出荷が始まり、出荷量はまとまってきています。12月いっぱいから年明けごろまで出荷が続く見込みです。

春彼岸出荷の作型では、定植作業が終了し、順調に生育しています。

年内出荷作型を中心に、ハイマダラノメイガおよびコナガによる食害が発生しています。

2 シクラメン

生育期間中の高温により、一部生育の遅れが見られましたが、予定通り出荷が本格化しており、5号鉢の出荷が落ち着き、6号鉢の出荷が中心になっています。出荷は12月いっぱい続く見込みです。

3 枝物類

ユキヤナギは、12月上旬から加温ハウスへ入庫が始まっています。1月頃には、まとまった出荷となる見通しです。

サクラは、早い地域では低温処理を行っている状況です。出荷は平年並の12月下旬から始まり、1月以降出荷量が増える見通しです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ）
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiiku>